

「令和2年7月豪雨」による寺院の被害について

【静岡県第2宗務所管内】

- ・第330番 龍溪院 雨漏り
- ・第331番 大江院 土手の崩落、雨漏り

【熊本県第1宗務所管内】

- ・第48番 神照寺
土砂災害、境内地の一部崩落。災害発生から、寺院と保育園に合計81名が5日間避難し自主避難所となる。集落が行政により『災害後の危険な地域』に指定され、1か月間は150世帯のうち、寺院のみ常住。災害発生から53日間断水。
- ・第49番 観音院
本堂、庫裡ともに、3メートル以上の床上浸水。本堂全体の仏具関係、納骨堂、衣等がすべて被害を受ける。ご本尊、天蓋、荘厳、マリア観音像は修復中だが、その他仏具は廃棄。今後の復旧は未定。



- ・第51番 石水寺
境内地構造物破損。境内の橋が破損し、土地の一部崩落、道路土砂により通行止め。檀信徒の一部の集落が冠水し、仏壇、お墓の被害が大きい。

・第54番 城泉寺

土砂災害

・第55番 慈法院

土石流が大量に押し寄せ檀信徒会館の一部が埋め尽くされる。本堂も床下浸水の被害を受けた。

*ここに記載した熊本県の5か寺は、熊本県第1宗務所第4教区に属しています。建物等に直接的な被害が出ていない寺院でも、多くの檀信徒に家屋浸水等の被害が生じており、特に、仏壇流出等の被害は299軒の檀信徒から報告されています。

*新型コロナウイルス感染症の影響により、他県からのボランティアが入れず、当地や県内の僧侶、寺族等が今も復興支援活動に取り組んでいます。



【山形県第1宗務所管内】

- ・第21番 長泉寺 墓地数基倒壊
- ・第48番 正福寺 斜面の墓地数基倒壊
- ・第52番 柳澤寺 床下浸水
- ・第63番 乾徳寺 床下浸水
- ・第81番 金勝寺 床下浸水
- ・第92番 龍泰寺 境内地構造物破損（橋）
- ・第161番 宝鏡寺 境内地がけ崩れ
- ・第162番 向川寺 境内地がけ崩れ
- ・第235番 長林寺 床下浸水

【山形県第2宗務所管内】

- ・第285番 泉高院 墓地土手の崩落
- ・第315番 永泉寺 参道損壊
- ・第323番 中山寺 参道損壊、墓地法面崩落、墓地納骨堂土砂流出
- ・第326番 太松院 山門前参道（車道）の土砂流出、参道埋没、墓参道損壊
- ・第344番 蔵高院 土砂流出、境内地東側が流水による地面崩落、流出